

道路整備により観光客の行動範囲が拡大

【沖縄本島内の道路整備による効果】

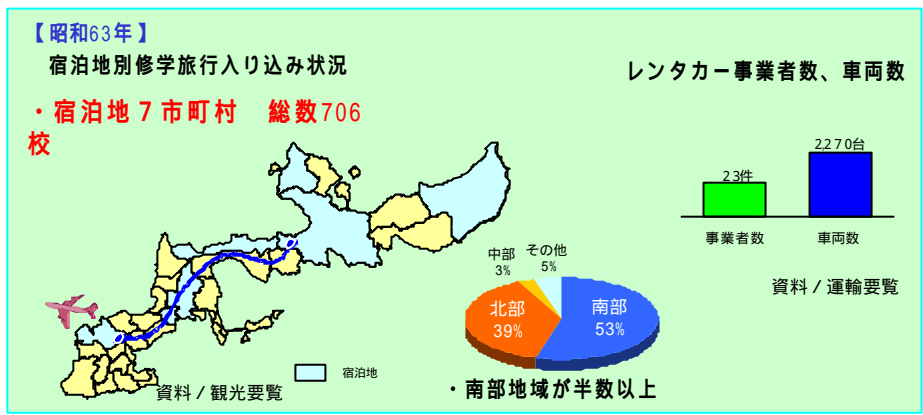
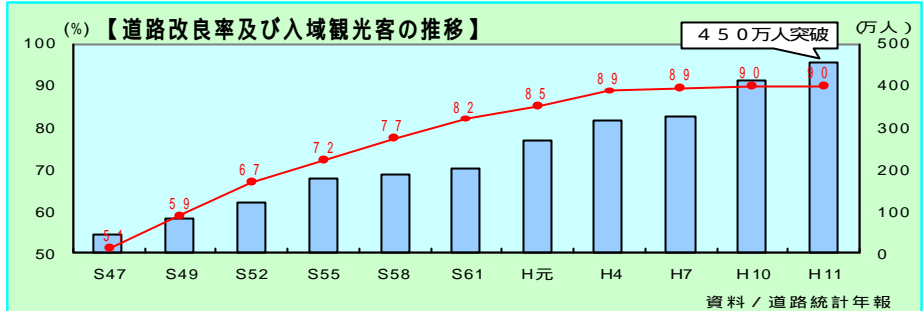
本土復帰後の道路整備により道路改良率が向上

- ・昭和62年に沖縄自動車道が全線開通し、那覇空港から本島北部地域への所要時間は半減し、アクセス性が向上

↓

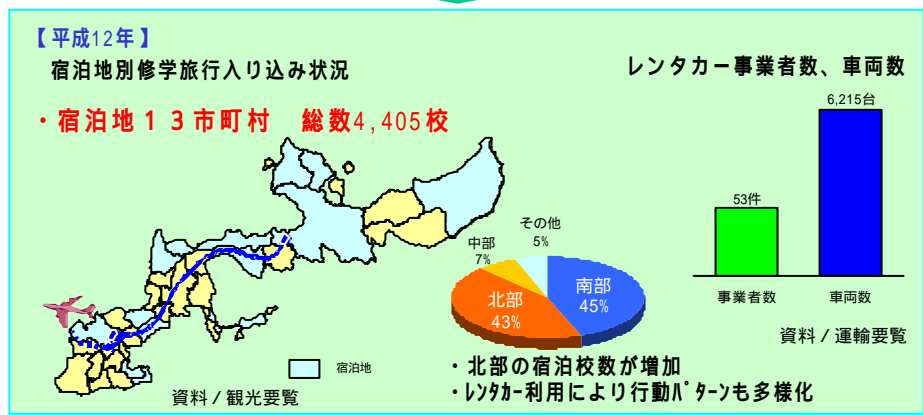
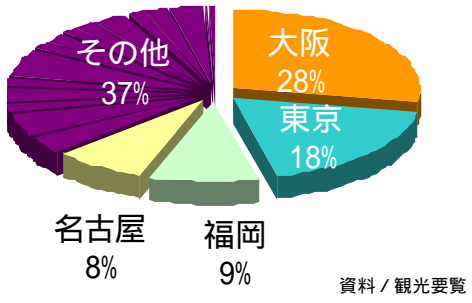
**観光客の行動範囲が拡大
行動パターンも多様化**

- ・観光客の入込み客数44万人（昭和47年）
450万人突破(平成11年)



観光客の大半は、4大都市圏

地域別入域状況



道路整備により観光の利便性・快適性が向上

【沖縄自動車道（沖縄県）の整備効果】

昭和62年に沖縄自動車道が全線開通

- ・那覇空港から沖縄本島北部恩納村への所要時間が大幅短縮
- ・アクセス性が向上し、北部恩納村におけるリゾートホテルの立地が促進。

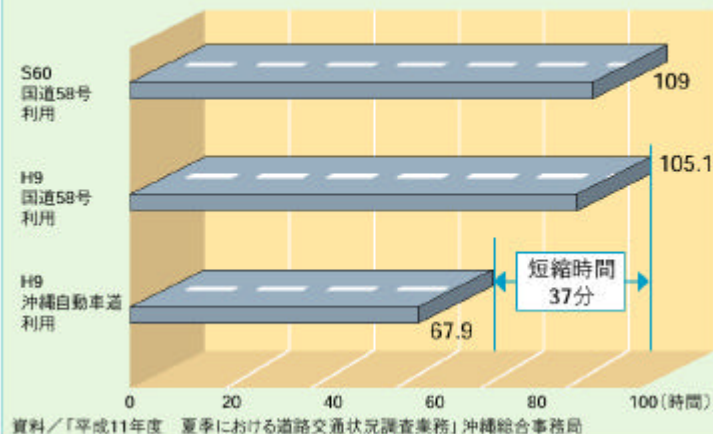


全線開通により、沖縄県への観光客数が約2倍、観光収入も約1.8倍に増加

- ・観光客数(220万人(昭和62年)) 450万人(平成11年)
- ・観光収入(2,500億円(昭和62年)) 4,400億円(平成10年)



●沖縄自動車道の全線開通により身近になった観光地（空港～恩納村までの所要時間）



●観光地へのアクセス性向上により観光客が倍増（沖縄県への入域観光客数および観光収入の推移）

